

【FXの検証で有利なのは自動売買トレーダーより裁量トレーダー？】

⇒編集後記で

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【時には月利40%も生み出す相関性FXトレードとは？】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

どうもゆうです。

こんばんは。

さて、前の号にて

以下の内容をお渡ししました。

特に米朝首脳会談のマスコミ報道の

「破談」で歓喜してる様子を

「なんかおかしいんだよな～」

と思ってる人なんかはトランプ大統領の裏の戦略が
分かってくるから面白いと思います。

特に実際のトランプ大統領の会見での動画なんかも
使いながら説明してるので
面白いと思います！

PDFレポート

【北朝鮮の金正恩と「意図的に破談する演技」をした
トランプ大統領の思惑とは何か？を考える！】

(⇒日朝首脳会談シナリオ)

http://fxgod.net/pdf/nichou_shunoukaidan.pdf

そう、それでやはりどう見てもこれは「トランプ劇場」なんだけど
(主役：トランプ大統領 金正恩 脇役：ボルトン)

これは見てればわかりますが

その分析が日本語ではまだ出ていないと感じました。

一方、英語で見ている海外在住者は思ったと思いますが

「米朝会談の後に
トランプが途中で急に、唐突に日本（Japan）に言及しました」

んですね。

結論を先に言ってしまうと あの故意の破談を

トランプと金が演出して、それで日本と北朝鮮が近づく

流れが強引に作られていきそうですが

そこで結局 在韓米軍撤退議論の次の

在日米軍撤退議論にいよいよ、トランプが仕掛けてきた

可能性が高いだろうと私は見てます。

そして「日朝首脳会談」シナリオまでつながっていく

流れも見えてきてます。

逆を言うとそれを狙ってでのトランプの

「意図的な故意の破談」でして

なぜあえて ボルトンを交渉の席に座らせたか？

というのも手にとるように分かりますね！

それでトランプなんかは会見で中国の記者に

「うん?? おい中国の記者よ、

お前の英語アクセントわからねーぞ、

というフリ」して

そこで急に日本に言及してますよね??

そう、全部トランプ劇場の演出なんですね。

だからはっきり言うと
日本のマスコミやアメリカのマスコミの

「トランプ大統領は再び北朝鮮と対立状態になるのだ」

っていう分析は間違いでして、

それらの詳細を PDF で解説してるので

ぜひご覧くださいね～

そう、それでトランプ大統領の意図的破談の
トランプ劇場のお膳立てで出てくるのが

まだぜんぜん言われていないものの、

「日朝首脳会談の流れ・シナリオ」

なんですね～～

今回の PDF の解説は

「なんかマスコミとかネットの主要報道って
引っかかる・・・おかしいんだよな」
って人にとってはかなり面白い？
と思いますので

ぜひ見てみてくださいね～

PDFレポート

【北朝鮮の金正恩と「意図的に破談する演技」をした
トランプ大統領の思惑とは何か？を考える！】

(⇒日朝首脳会談シナリオ)

http://fxgod.net/pdf/nichou_shunoukaidan.pdf

さて、それであなたは、

FXにて 裁量トレーダーと自動売買トレーダー
どっちが有利だと思いますか??

厳密な意味では自動売買トレーダーも自分で
オンオフの裁量下したりするので

裁量なんだけど

裁量トレーダー寄りと、自動売買トレーダー寄り
どっちが有利だろう??

と考えたことありますか？

ちなみに個人的には裁量トレード、裁量投資、
がメインなのですが、自動売買もやってるのですが
やはりポートフォリオで大きいのは裁量部門です。

この辺はいろいろな意見があるけど

やはり裁量のほうが有利と私は思ってます。

というのが「検証方法」が裁量トレーダーのほうが有利だと
私は思うんですね。

なぜか？というと

結構大事な検証の考え方でもあるので

編集後記で！



【どこの証券会社も扱っていない、
世界初のトレードツール】



さて、この前は

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」を誰でも
自然にできるちょっとした工夫とは？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

という号を流しました～

やはり「検証するかテストするか、それが習慣化するかどうか？」

で「自分で稼いで行く」という分野は結果が

分かれてくる部分があるので

検証ってのを日常生活に浸透させていくための

工夫ってのは大事ですね～

さて、それでこの前の

金融商品間の相関性を利用した持田先生のFXトレードの

案件ですが

人気でありますね～～

もともと持田先生が野村証券の投資部門なりにいらっしゃった方なので

学ぶ内容はガチにファンド運用者たちのやり方になるわけですが

相当レベル、水準は高く、

金融商品の相関を為替取引に活用する方法は

大いに学べるので

高いレベルの内容を学びたい方はぜひ見てみるといいでしょう

【FX 新案件】 49ヶ月間で4913倍のトレード法とは？

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

今日は引き続き、こちらの案件を担当されてる

持田先生よりあなたにメッセージです！

=====

【どこの証券会社も扱っていない、
世界初のトレードツール】

はじめまして。

持田有紀子と申します。

私は大学卒業後、当時は珍しい女性の総合職として
野村証券へ入社し、

株式トレーダーを経て、
本店営業部で業務に携わってきました。

2005年に投資情報サービス会社・

アルジャントレードを設立し、

投資家へのアドバイスと並行して

海外のヘッジファンド運用に積極的に携りながら、
現役トレーダーとしても活動しています。

自宅も会社も恵比寿なので、
街から出ない生活を送っているせいか

どこかに出かければイヤリングを無くし、
人と待ち合わせすれば道に迷う。

そんな抜けてる私でも、相場の世界で勝ちつづけている理由が
この「3次元ベータトレード」なのです。

私はこのトレードを1日に10分～30分の間にするだけで
十分すぎるほどのお金を相場から取ってきています。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

このトレード法は、ある意味「ズルい」のかもしれませんが。

後だしジャンケンのように、答えが見えているからです。

このロジックとツールを組み合わせることで
10～30分だけトレードをする。

たったそれだけで
月に最大50%もの収益を生み
時間とお金の両方を手にすることが出来ます。

感覚を可視化する、世界初のツール

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

相場の依存症になり、PCから離れられないトレーダーの悲劇を
私は多く見てきました。

あなたはトレードをやりたくて、トレードを始めたのですか？
それとも、お金儲けをしたくてトレードを始めたのですか？

目的がお金儲けなら、余計なことは一切せずに

1日に10分だけ、私の言う通りに取り組んでみてください。

きっとあなたは、趣味を心から楽しめるトレーダーになることが出来るでしょう。

ラウンジでハーブティーを飲みながら10分だけトレードをし、残りの時間は優雅にワインを楽しんだり、ジョギングをしたり趣味に本気で打ち込むことができる。

そんな生活をすぐに手に入れる方法が、3次元ベータトレードです。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

FXだけ、株式投資だけ取引するのは、愚かなことです。

~~~~~

「相関性」の概念があれば  
重要な市場を3つチェックしてさえいれば  
上がるのか下がるのかなんて考えずとも見えるんです。

いえ、語弊がありました。

**「見てから、方向を決めることが出来るのです」**

~~~~~

この後だしジャンケンのようなロジックを
初心者が取り組みやすいように可視化したトレード手法が
3次元ベータトレードなのです。

インジケーターをごちゃごちゃ表示しなくても
ぱっと見るだけでエントリーポイントが見え
利益確定の幅と損切りの幅が瞬時に表示される。

そして、今もっとも勝ちやすい市場までも表示される。

さらに、リーマンショックのような暴落に備えることができ
それどころか突然の急騰・急落を利益に変えてしまう。

そんな反則のようなツールです。

市場の連動性は、こちらをご覧ください。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

このロジックの特徴は・・・以下のとおりです。

・ 知識ゼロの初心者が短期間でマスターできる

・ 予想やインジケーターは必要ない

・ リスクが限定されている手法です

・ 少額からでも利益を出せます

・ 朝でも夜でも昼でも、空いた好きな時間取引できる

・ 100年間、毎日使える手法

・ 全員がやっても飽和しない

・ 実際に手元にお金が残っていく手法

【また以下は前号の
持田先生からあなたにメッセージです】

こんにちは。

相関性トレーダーの持田有紀子と申します。

20年前、野村証券で株式投資の運用に従事し、
現在は、2005年に設立した投資情報サービス会社
「株式会社アルジャントレード」にて代表取締役を務めています。

弊社では海外の先物市場や外国為替取引に関する
投資・運用サービスを提供しており、
海外のヘッジファンド運用にも積極的に携わっています。

過去20年にわたり、年ベースでは「無敗」のまま、
法人と個人でトレードをしつつ優雅な毎日を送っています。

また、さまざまな投資家へのアドバイスも行っており、
投資関連の書籍も8冊ほど出版しています。

書籍や雑誌だけでなく、
ダイヤモンド社の「ザイFX!」で毎日発信している
「戦うオンナのマーケット日記」というコラムに代表されるように、
様々な金融系媒体で、様々な情報発信を行っています。

鼻につく話かも知れませんが、
過去20年間、年ベースでは「無敗」のまま、
法人と個人でトレードをしつつ優雅な毎日を送っています。

私は宣言します。

あなたが「トレード経験のない初心者の方」であれば、
本日より少なくとも「5日以内」に、
シンプルにトレードで勝つ方法を理解していることを。

あなたが「トレード経験のある方」であれば、
本日より少なくとも「5日以内」に、
これまでの「相場」との向き合い方が大きく変わっていることを。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

ひとつ質問をさせてください。

「あなたは今、何をトレード対象としているのでしょうか？」

F X だけ？

個別株だけ？

日経平均だけ？

金だけ？

バイナリーオプションだけ？

仮想通貨だけ？

「今」はあなたがどんなトレードをしていても結構です。

**しかし、あなたが「3次元ベータトレード」を知った時、
「F X だけ」あるいは「個別株だけ」というように、
「●●だけ」のトレードを行うことが、いかに無意味なことであり、
利益効率も、時間効率も悪いトレードであることがわかるでしょう。**

**仮にあなたが「F X」のトレーダーであれば、
「ドル円」や「ユーロドル」だけではなく、
「とある金融商品 A」や「とある金融商品 B」を追わない理由が、
一切なくなってしまうでしょう。**

大事なキーワードは「相関性」。

「ひとつの金融商品だけ」で、
利益を出そうとして目を血走らせることは、
私に言わせれば、実に滑稽な行動なのです。

失礼な話かも知れませんが。

私に毎日、富をもたらす「3次元ベータトレード」は、
投資の知識や経験、生まれながらの才能は必要ありません。

更に時間効率が非常に優れているので、
トレードにかかる時間は1日に2～3分。

長くても10分以内で完了します。

私は、20年ほど相場に携わってきていますが、

年間ペースではもちろんのこと、
月間ベースでもほとんど負けたことはありません。

なぜこのような非現実的なトレードが可能かと言うと、
この世のほとんどのトレーダーが気づいていないところから、
今後の値動きの「答え」を見つけてくるからです。

今のあなたのトレードにしがみ付き、
今後もあなたのトレードスタイルを変えたくなければ、
このまま何もなかったかのようにスルーするのが賢明です。

しかし、勇気を持って一歩踏み出し、
「稼ぎたい」「自分を変えたい」と強く願うのであれば、
こちらをご覧にならない理由がありません。

とりわけ、あなたが今、「稼いでいない」のであれば。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

以下は、私「持田有紀子」が、
3次元ベータトレードのみで成績を公開しはじめた、
「2014年12月」から「2018年12月末」までの
「49ヶ月間」の成績です。

月	損益合計	月間利回り
2014年12月	+684,100円	+136.82%
2015年01月	+137,000円	+27.40%
2015年02月	+188,700円	+37.74%
2015年03月	+85,700円	+17.14%
2015年04月	+338,600円	+67.72%
2015年05月	+42,700円	+8.54%
2015年06月	+5,900円	+1.18%
2015年07月	+208,700円	+41.74%
2015年08月	+387,200円	+77.44%
2015年09月	+120,300円	+24.06%
2015年10月	+197,100円	+39.42%
2015年11月	+76,600円	+15.32%
2015年12月	+169,900円	+33.98%
2016年01月	+284,500円	+56.90%
2016年02月	+51,000円	+10.20%
2016年03月	+4,400円	+0.88%

2016年04月	+33,700円	+6.74%
2016年05月	+230,400円	+46.08%
2016年06月	+180,600円	+36.12%
2016年07月	+15,200円	+3.04%
2016年08月	+74,500円	+14.90%
2016年09月	+27,800円	+5.56%
2016年10月	+116,100円	+23.22%
2016年11月	-19,900円	-3.98%
2016年12月	+30,520円	+6.10%
2017年01月	+415,250円	+83.05%
2017年02月	+116,600円	+23.32%
2017年03月	-108,075円	-21.62%
2017年04月	+107,500円	+21.50%
2017年05月	+133,800円	+26.76%
2017年06月	+68,800円	+13.76%
2017年07月	+2,500円	+0.50%
2017年08月	+151,700円	+30.34%
2017年09月	+17,900円	+3.58%
2017年10月	-69,900円	-13.98%
2017年11月	+38,200円	+7.64%
2017年12月	-103,000円	-20.60%
2018年01月	+177,100円	+35.42%
2018年02月	-102,900円	-20.58%
2018年03月	+48,500円	+9.70%
2018年04月	+145,000円	+29.00%
2018年05月	-13,500円	-2.70%

2018年06月	+37,075円	+7.42%
2018年07月	+53,625円	+10.73%
2018年08月	+102,850円	+20.57%
2018年09月	+109,175円	+21.84%
2018年10月	+112,200円	+22.44%
2018年11月	+68,900円	+13.78%
2018年12月	+158,100円	+31.62%

合計 +5,304,720円 +1,060.94%

この成績は、あなたに身近に捉えていただけるよう、
わかりやすく元本を50万円にして計算しています。

3次元ベータトレードを「2014年の12月」から運用していれば、
49ヶ月間の単利計算で、
「50万円」が「530万円」になった計算となります。

利益率は実に「1060%」です。

もちろんこれは「バックテスト」の類いではありません。

ただただ私が「リアル」にあげた「利益」の抜粋です。

実際に私が運用している金額は、もっと大きな資金です。

具体的には言えませんが、
少なくとも「この何百倍にすら収まらない金額」です。

上記の成績をご覧いただければおわかりになるとおり、
2014年12月からの「49ヶ月」のうち、
月間ベースでマイナスだったのは、
わずかに「6回」だけです。

他の月はすべて「プラス」。

私の3次元ベータトレードは、
こんな尋常ではない数字を叩きだしていることとなります。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

あなたのことで例えてみましょう。

例えば、あなたが、最初は20万円からスタートし、
私が3次元ベータトレードで目指している「30%」のリターンではなく、
「20%」のリターンで、
安全運転で3次元ベータトレードに取り組んだとしましょう。

その上で、「1年間」、増えた資金は出金せずに、
元本に追加していったとします。

そうすると、「1年後」に、
あなたの資金は「150万円」に拡大しています。

ここまで、利益をすべて元本の拡大に回していますので、
残念ながら、利益を出金したいのは我慢します。

しかし、この我慢の結果が1年後の「150万円」です。

しかも、私の「30%」のリターンではなく、
「20%」のリターンだけで。

この「150万円」をベースにして、
月利「20%」で3次元ベータトレードを運用すれば、
月々の利益はどうなっているのでしょうか？

そうです。「30万円」です。

「20%」ではなくて、私と同様「30%」で回れば、
月々「45万円」の利益です。

この「月々30万円」あるいは「月々45万円」という利益を、
「毎月のお楽しみ費」として出金しても良いですし、
更なる「元本の拡大」にいそしんでいただいても結構です。

あとはあなたが、どのくらいのリターンを求めて、
3次元ベータトレードに取り組むかなのですから。

余談です。

あなたが得られるシミュレーションを出したので、
ついでにちょっと面白い計算をしてみましょう。

私の上記の成績は、
「私のリアルな成績」を「50万円」で「単利」で回した、
いわゆる「フォワード成績」です。

つまり、
「私」が、
「3次元ベータトレードという手法」を利用して、
「2014年12月から2018年12月まで」を
「あえて毎月50万円でスタート」した上での
「リアルな成績」
です

このリアルな成績を、
同じく「50万円」でスタートをするのですが、
これを「単利」ではなく、月単位での「複利」で回していたら、
果たしてどうなっているのか？

・・・という話です。

よろしいでしょうか。

結果は、

「2, 456, 391, 767円」です。

です。

桁を間違えないでくださいね。

「50万円」が「49ヶ月」で「24億円」になっています。

誤解しないでください。

あくまでも「タラレバ」の話です。

しかし「リアル成績」に則った「タラレバ」です。

この結果をどうあなたがとらえるかは、
あなた次第ですが、ひとつの参考値にはなるでしょう。

少なくとも言えることは、
「3次元ベータトレード」は、
「50万円」が「49ヶ月」で「24億円」にする
ポテンシャルを秘めているということです。

これまた誤解しないで欲しいのですが、
もちろん、先ほどお伝えしたように、
いかに「3次元ベータトレード」であるからとて、
月によってはマイナスの月もあるわけです。

事実、49ヶ月間においては、
わずかに「6回」だけですが、マイナスの月も存在します。

月ごとに勝ちや負けを繰り返し、
結果、年単位で大きな大きな利益をもぎ取る。

だから、単月でマイナスが出たとしても、
それは心配することでは無いのです。

だって、相手は相場なのですから、
勝ったり負けたりするのは当たり前なのですから。

そんなことよりも、3次元ベータトレードは、
あなたにお金を一生運び続けてくれて、
あなたを一生サポートしてくれる仕組みです。

だから、月ごとにプラスがあってもマイナスがあっても、
長い長い人生の中のちょっとしたマイナスなど
別に気にしなくても良いのです。

私、持田有紀子が毎日行っている「3次元ベータトレード」。

この投資手法を「完全無料」で公開中です。

わずか「10日間」だけの「期間限定」公開ですのでご注意ください。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

=====

以上です。

それでこの「3次元ベータトレード」はずばり

金融商品間の相関を利用した方法なのですが

相関性トレード、とも言われますね。

日経平均とか米国債とか原油とか金ゴールドとか

また為替とか NY ダウだとか上海総合とかオプション市場とか

まあ多くのマーケットを見るということは

投資暦が長い人はやってると思うのですが

ここで「全体を俯瞰＝ふかん」するっていうのを

この持田先生は重視しております。

日本語で「木を見て森を見ず」っていう言葉があるけど

FX だけ、とか株だけ、とかっていうのは

まさに「木」だけ見てる状態なんですね。

けど、世界にはさまざまなマーケットがあって

それぞれが相関して動いてるんだけど

この大きな金融の全体像を「俯瞰ふかん」して

それで為替のFXで仕掛けていきたいと思いますというのが

持田先生のトレード手法の革新でありますね。

個人投資家であまりここまで全体像を把握してる人は

いないものの、

やはり相場でもライバルになるファンドの人らなんかは

やっぱり、相関を見ております。

例えば以前に億トレーダーのダイスケさんを扱ってますが

あの人なんかはとにかく相関を重視しますよね。

エリオット波動とグランビルを主にテクニカル分析で使うのが

彼でしたが

実は彼が精度をあげるために使ってるのが

「相関」でもあったと思います。

ちなみに相関率というのがあって、これはネットで調べれば

出てくるでしょうが

それぞれの金融商品って相関性を持っていますから

例えば

「Aの金融商品とBの金融商品がこうやって動いたら

Cの金融商品はちょっと遅れて こう動く確率が高い」

ってのがあるんです。

これが相関性トレードですが、

ファンドなんかがよく行ってるトレードでして

それを個人が学べる面白さです。

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

=====**編集後記**=====

さてさて、今日は以前もこちらのPDFで扱ってますが

「検証」について考えたいと思います！！

ちなみに検証についての記事は過去たくさん書いてるけど
なぜか？というと

もっとも大事だからです。

例えば以下のPDFのような工夫するだけで

大損するのを防ぐだけではなく、

ちゃんとお金、資産が長期では増えてくれるわけですね。

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」を誰でも
自然にできるちょっとした工夫とは？】

⇒ http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

それで今週はもう相場が開始してますが、

早速検証されていますか??

一応これは上のレポートで書いたように
検証なんかは徐々に徐々に、

できれば毎回エントリーする際に戦略を立てると
思いますけど、

それをエントリー前に
10回くらいは検証してみるってのを
今まで検証していなかった人はやってみると
いいと私は思います。

たぶん今までルールを守れなかったとか
まあいろいろあると思うんですけどね、

検証を毎トレードごと10回エントリー前にやるだけで
経験上、相当変わってくると思いますね～

ちなみに投資やトレードにおいてもっとも難しいのが
「トレードルール守る」です。

これが99%の人ができないから、
やはり1%の人間だけお金稼げるわけですが

この99%と1%ってのはそのまま
検証をやらない人とやる人の比率、なんですね。

そんで毎回トレードごとに10回検証していたら、
今週だけでも1日一回トレードする人ならば
50回か60回は検証データが取れますが、

3月終わるころには200回検証してることになるわけです。

まあなので、今まで検証をエントリー前にしていませんでした
という人が大半な現状なので、

ぜひ今週からやってみるといいでしょう～

ちなみに、PDFではプライスアクションの非常にシンプルなトレードルールを記載しておりますね。

このトレードルールは私が数十億円FXで稼いだ方に最初教えてもらったルールで、今も応用しますが、よく使います。

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」を誰でも自然にできるちょっとした工夫とは？】

http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

プライスアクションなんかは検証がしやすい、
つてのがよいですね。

そこに以前学んだライン・ゾーンを使った分析とか
エリオット波動とかグランビル法則を
組み合わせてフィルターしていくんですね。

(検証上イマイチなデータだったら
フィルターを増やして精度上げる。)

ちなみに裁量トレーダーと自動売買トレーダーの
検証方法の違いってのがあって、

自動売買トレーダーの場合はバックテストなんかを
もろに使うわけですが

バックテストのルールってのはやはり PC が
理解できるルールじゃないといけないから
数値化されてるものです。

しかし裁量トレーダーの場合は

「エリオット波動の C 波想定で

売りのピンバー出てる部分だけ検証」

とかできるわけですね。

「思惑でここに入ろう」と思う前に 10 回の
検証をするってのが PDF の話だけど、

ここでも裁量トレーダーの場合は直近10回の
検証データも「なるべく状況が現状に近いもの」
をピックアップできるのがすごいよいところです。

これはEA派にはできない検証方法なんですね、
現状。

AI（人工知能）なんかでもまだ画像読み込みとかの
ログインがあると思いますが、結局あのレベルを
認識できないレベルなので。

だから検証にこそ、人間の強みが現状は出る、ってことですね。

ということで今までいろいろ苦労した人は
ぜひ今週から エントリー前の検証10回
を取り入れてみるといいでしょう～～

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」を誰でも
自然にできるちょっとした工夫とは？】

http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

それで上に書きましたが

「FXでは裁量トレーダーと自動売買トレーダー」

がいるけども

「検証」の効率性を考えたら私なんかは

裁量トレーダーが現状ではまだまだ有利なのかな

って思いますよね。

一応 PC なんかのバックテストなりの検証だと

それこそ何万データも取るわけですが

これはもう個人の時間と労力だと無理だと思います。

それで実際に以前は熊本さんのバイナリーなんかでも

Mr.Tさんが検証してる確率に基づいて連勝しまくってましたが

あれはあれで PC を使った検証のすごさ、でもあるわけですね。

個人が一人でできる検証数の数百倍を機械、パソコンは

こなせるわけですから

一見・・・そう考えると人間は機械の検証において

勝てない、かないそうもない、ですよ？

けど実際そうとも言えない現状があって、

たとえば PDF で

「エントリーする前にそのトレードルールで

ちゃんと直近 10 回のトレードで機能するか

毎回検証しましょう」

と書いてますが

これで例えば事例にあるプライスアクションの

ピンバーやエンゴルフィンバーの検証を

PCと同じように、無思考にやるなら、

それは機械にさせとけ、って話なんですね。

実際にピンバーとかエンゴルフィンバーの定義を

プログラムして、機械で検証することはできるわけです。

ただこれが裁量トレーダーのよいところでもあるんだけど

例えば、以前エリオット波動について書いてますよね。

これはエリオット波動は PDF にしています。

PDF【エリオット波動論を理解して
FXや仮想通貨の「神の見えざる手」を知ろう！】

<http://fxgod.net/pdf/fx/elliott2.pdf>

それで、例えば、初心者からすると難易度は高いのだけど

エリオット波動のC波の暴落をショートの売りで取るという

考え方は存在してるわけですが

例えばですが上の検証のPDFで書いている

プライスアクションの売りルールがありますよね。

売りのピンバー、売りのエンゴルフンバーなどです。

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」を誰でも
自然にできるちょっとした工夫とは？】

http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

んでここで裁量トレーダーってのはチャートチェックしていて

「お、きれいな売りピンバーが出たな」

とか判断したりしますよね。

ちなみにですが、ピンバーにも ピンきりがありまして、

美しいピンバーと いけてないピンバーがあります。

実体の3倍以上髭の長さがあるのがピンバーでは
大事ですが

ここで当然、実体の1.5倍しか髭の長さが無い
ピンバーはあまり信頼性がなかったりします。

髭の長さが例えば実体の5倍とか7倍以上あれば
相当入りたいという意欲は出ますよね。

だって、そんだけ多くのトレーダーが刈り取られた
後だから。

(髭が短いときはまだ結構な数のトレーダーが生き残ってる)

だから「ピンバー」と一言で言うけど

実体の3倍の長さの髭のピンバーと

実体の5倍の長さの髭のピンバーってのは

厳密に言うと違うんですね。

ただ自動売買や AI 取引だとまだまだ検証やバックテストは

それらをまとめてやってしまったりするわけです。

あえて分けてるようなところもあるかもしれませんが、

それだけプログラムが複雑になるわけですね。

けど・・・人間ってのは機械や AI より現状は？優れていて

実体の3倍の長さの髭のピンバーと

実体の5倍の長さの髭のピンバー

の区別は一瞬で慣れればつくんです。

だから「今、結構イケてる美しいピンバーで

売りを仕掛けようとしているけど

検証上はどうだろう??

今の現状に近い直近過去データをピックアップして

検証しよう」

とかできるわけですね。

この人間の優位性をあなたもきっと

AIじゃなくて人間でしょうから、

理解しておくのは大事です。

ちなみに検証するならば

仮に実体の5倍の長さのある髭のピンバーの検証するならば

その形に近い直近ピンバーの検証を10回したほうが

やはり状況が近似するから

信頼性は高くなるわけですね。

逆にあまり変な形のピンバーはデータ外に

して検証するなんてのも一瞬でできるわけです。

人間はこういうことができます。

が、機械は変な形のピンバーでもデータに組み込んでしまう

というプログラムが多く組まれてるのが

現状かと私は認識してます。

(10年経過したら変わるかもだけど)

それで、例えば

エリオット波動+プライスアクション（今回はピンバー）

で考えてみるわけですが

エリオット波動ってのは予測する原理原則じゃなくて

シナリオ想定する原理原則ですよ？

それでチャートで今入ろうというところが

エリオット波動のカウント上はC波と想定できそうな

ところだとします。

そこでルールの売りのきれいなピンバーが出ました。

他にもルールは追加することはできるのだけど

今日は上のルールで考えます。

それで・・・私も上のルール全部の通貨検証したわけじゃないけど

まあ普通に確率優位性はあるルールだと思います。

ただ、これはエントリー前に10回検証をするわけですね。

10回検証は最初は結構 時間かかるかもしれませんが

慣れたら目視や暗算でできるようになってきますね。

(本当はちゃんとノートなりに書いたほうがいいけども。)

それで、自動売買なんかのバックテストだと

数値で表しやすいもの、

例えばインジケータの数値とか、分かりやすい

サポレジとかそういうのでバックテストは仕掛けられる

んだけど

「C波と想定可能」くらいの思考になってくると

たぶんですが今のAIとか機械でそれを十分やるのは

難しいはずなんです。

これは実際に最近、

なんかのサービスにログインする前に

「自動車の画像をクリックしてね」みたいな

多いじゃないですか？

逆を言うとあの程度でさえも現状の機械は

クリアできない場合が多いわけですね。

けど、人間は 自動車の画像見たら

「これ自動車」って認識できます。

これはエリオット波動なんかが強いのはそのかも

しれませんが、

「C波っぽい」という想定なんだけど

この「っぽい」が人間のおもしろいところです。

そこに若干のあいまいさ、があるんだけど

思考の遊びがあるんですけどね、

これがたぶん武器なんですね、人間の。

機械だったら

「これはC波の形状だ。

いや形状じゃない」

の2択になってしまうわけでした。

んで、人間が検証する場合はそれらの人間の

武器を使うことができて、

例えば エリオット波動C波と想定できるときありますよね。

そこで きれいなピンバーが出ました。

そこで「入る前に10回検証」をするんだけど

そこで「直近の 同じようなチャート形状のエリオット波動C波と

カウントできる似たチャート上の売りピンバーの検証10回」

とか人間は検証する対象のチャートを

複雑なプログラムを書かずして、

簡単に主観で絞れるんですね。

ここが主観であるのが大事で、客観じゃないわけです。

客観的に見て誰もがそう思う、

のであれば機械にやらせておけばいい。

もしここで機械と同じように

「売りの実体の5倍髭のピンバーだけ」

の検証を10回やるだけだと

おそらくけど精度落ちるはずですよ。

がここに人間の「エリオット波動C波と想定できるところの

売りピンバーを10回検証する」

とかやるとやっぱり検証精度って結構上がるんですね。

機械の検証だと

エリオット波動の2波や4波に入る前の売りピンバーも

検証データにいれてしまうものですが

人間だったら、ぱっぱと迅速に行う

エントリー前の10回検証のときでも

そのチャート画像を見て

「これC波想定できる、そこの売りピンバーだ」

ってたぶん慣れたら0.1秒で判別できるんです。

だから、そこで現状「これからC波想定売りピンバー仕掛けるぞ」

と考えてるときでも

直近10回の似たチャートの検証データを

上記事例ならC波想定をその人が想定してるデータを

人間なら一瞬で取得できるんですね。

これをいちいちプログラム書いて、検証・・・

とかするよりも

10回くらいなら人間のほうが機械より早いんです。

まあだから 検証は機械的に検証つてのが

初心者には教えられるけど

(機械的にやるのは損きりであって

検証は人間の個性を使ってよいと思う)

そこである程度知識持つてる人なら

「エリオット波動の波動の性質

1～5波 A～C波の中のピンバーはそれぞれ

段階で性質が違う」

って原理原則は分かっているだろうから

C波の中のピンバーに絞って10回検証したりする

わけですね。

私は実はこういう方法を良くとりますが

やっぱり優れてる方法論だと思ってます。

んでこうやって検証してる人ってたぶん1000人いて

ほんと数人じゃないかな？とも思いますので

やっぱり知ってるか知らないかの世界なんですね～

ちなみに、機械やAIが得意なところってやはり

「数字」で表せるところだと思います。

数字を入れ込んでデータ作ったりディープラーニングしたり

ってのは機械の得意な分野ですね。

ちなみに数字は宗教のひとつで

神学から来たのが数字ですね。

だからじゃあ機械に

「佐々木希と新垣由衣どっちが美人でかわいいか

教えてくれ」

と聞いても答えられないわけです。

いくらデータを入れても 納得できない答えしか

返ってこないと思います。

けど人間なら

「おれは佐々木希」

とか

「おれは新垣由衣」

とか悩みつつも答えられるわけです。

また私は両方よいと思いますが

そこで選べない私のような

どうしようもない男もまたいます。

たらしな男はそういうタイプなので

女性のみなさんはこういう質問を男に浴びせると

判断基準としてよいかもしれません。

まあそんな感じで、

人間なら即答なり何かしら答えられるんだけど

そこで主観が入るんだけど

機械だと絶対的な答えを探そうとするわけですが

残念ながら 佐々木希と新垣由衣のどっちがタイプか？

みたいな話だと

そこに絶対的な答えってないから

機械も AI も迷っちゃいますよね。

けど市場ってのはそういうあいまいさで形成されていて

佐々木希のファンもいれば

新垣由衣のファンもいるわけで

そこで市場が形成されて実際に

CM なんかの起用も決定されたりするわけで

マネーが動くんですね。

だからたぶん機械だとエリオット波動を

描写するツールとかはあるけど

きわめてこういうのが苦手なんだと思います。

が、人間なら一瞬でできます。

例えばそこでグランビルの売り法則なんかも加えたら

そこでより近いチャート形状だけに絞って

それで検証するのが人間は現状できるわけですね。

機械、EAトレーダーはまだまだその辺が難しいと

感じてるかもしれませんね。

なんで、「10回検証する」でも

漠然と機械にできる ピンバーやエンゴルフインバーの

機械的検証よりは

チャートの波、を見つけて

「似てる波の流れの中で形成されてる

対象のプライスアクション」

で10回検証したほうが精度あがるんですね。

相場にはトレーダーもいるしヘッジャーもいるし

参加者が常に入れ替わってるんだけど

(市場では淘汰があるから)

そこでまあなるべく似てる過去の状況で

そのトレードルールが適用可能か？を見たほうが

よいわけですね。

実際にそっちのほうが精度高いと私はすごい感じます。

また他の事例だと

ラインを使ったトレードをプライスアクションに

フィルターとして使った場合、

チャンネルラインを抜けて行ってさらに上昇するときに

チャンネルラインを基準に 形成された上昇ピンバーと、

下落トレンドラインをブレイクしてフック戻って

さらに GO する 以前はリターンムーブという用語で

学んでるはずですが

こういう状況の上昇ピンバーでは

ぜんぜん性質が違います。

同じ形してるのだけど相場状況、環境ってぜんぜん違う

わけです。

チャンネルのほうではトレンド続伸の動き、

トレンドラインのほうではショートの人らが

逃げて、さらに新規買いが入ってくる動き

でぜんぜん 同じ上昇ピンバーなのに、違います。

けど機械だとそれが分からないんで

バックテストに

上記の2パターンもデータで

ミックスして組み込んでやうんですね、

現状だと。

(がんばってプログラムしてるファンドもあるかもだけど

結構少数じゃないかなと)

けど裁量トレーダーからすると

上記の2パターンのピンバーはぜんぜん違うものだ

って分かりますから

裁量のエントリー前の10回検証でも

ちゃんとその状況に近い過去の状態で検証を

パパッと数分でできるんです。

だから裁量トレーダーのほうがまだまだ

現状は検証の上では機械より

優位にたつ方法が結構あるわけですね。

なのでエントリー前に10回検証ってのは

結構気楽に誰でもできるわけですが

そこで検証の対象となるチャートを

なるべく相場参加者が近似してると

その人が「主観・個性で考える」

直近チャートで探したりしますが

これは現状のチャートと状況がなるべく似ている

チャートで検証するとよいわけです。

「なるべく」似ているという表現で人間は分かるけど

機械だと

「「なるべく」ってなんだ！！」

とテンパるわけですね。

だからよくシステムトレードばかりしてる人は

曖昧さが嫌いで

「損失は〇〇PIPS とかルールが100%明確じゃないと

だめ！」

といますが

曖昧がないのであればそこで

EA化してしまえばいいわけで

そしてそのEA化してるのはいずれ分析されて

いずれ破られますが

これはもう思考が機械 AI そのものになってる

わけですね。

例えば相場の波は常に変化しており

生きてますから

ストップまでの距離は常に違いますから

そこで絶対化ってのはできないんです。

だから

本人は気づいてないけどそういう主張の人は

将来 AI で代替可能で滅んでいく運命です。

んでエリオット波動でもその人は

C 波ってみなしてるけど

ある人は5波の途中って思ってるかもしれない。

これも見方で大いに主観が入るんだけど

そしてそれでいいんですが

C波ってみなす人は

その主観でもって検証するわけですが

そこでとられた検証データはその人だけのもの

なんですね。

オリジナル。

これはなかなか機械だとまだまだ人間が

チャートをどう認識するか？

つてのは表現できないので人間の強みですね。

ということできっとこのメルマガを見てる人たちは

AI や機械じゃなくて人間でしょうから

せっかくだから人間の強みを理解して

それを検証にも生かすといいわけです。

EA 自動売買トレーダーではまたできない検証つてのが

人間には可能ですので。

なので「エントリー前に10回検証」つてのを

PDF に書いたけど

PDFレポート

【「めんどくさいFX検証」を誰でも
自然にできるちょっとした工夫とは？】

http://fxgod.net/pdf/fx_kenshou10.pdf

これに注釈を加えらしたら

「その10回の過去チャートの選択で

似てると エリオット波動やダウ理論やグランビルの

知識を持って 自分が判断できるチャート」

を10回のうちに選択したほうがよいんですね。

これはまあ最初は5回の検証でもよいかもだけど

やれば 機能してくる確率が高いので

あまり大きく負けずに利益が出てくる過程にて、
自分自身の検証上の体感として分かってくると思います。

(そして機械や AI にはこの体感、がないです)

なのでプライスアクションを事例にしましたが

プライスアクションのシンプルな検証でも

そこに 人間独自の武器、感性、チャート形状を捉える能力

ってのがあるので

それを活用するとより精度高い検証データが

10回だけでも得られるわけですね。

んでこれが100回、1000回と積み重なっていくと

相当成長しますね～

ということで2030年とか2040年は

機械やAIの進歩がどれくらい進んでるか分かりませんが

少なくとも2019年の時点ではまだまだ人間の

判断が有利で

それはFXや株の検証でも同じことが言えると思います。

ということでエントリー前に10回だけの検証は

簡単なものですが、しかし結構強烈ですが

それは機械にできない判断を加えて

エントリー毎の

検証の10回のデータを選択するとより強力だと

思いますね～～

(もちろんそこで10回より慣れたら早くなるから

100回、1000回

取れる人はやったほうがいいわけです。)

どんなノウハウでも利益が出ないよ～～

って悩んでる人は上の検証の考え方取り入れるだけで

劇的に変化する可能性ありなので

やってみるといいでしょう。

では！

ゆう

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【時には月利40%も生み出す相関性FXトレードとは？】

⇒ <http://www.fxgod.net/a/groups/1427489/33/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆